

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいうえおん		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 1 月 14 日		～ 令和 6 年 2 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 33名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 1 月 14 日		～ 令和 6 年 2 月 7 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 14 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育に特化した時間を構成しており、学校や習い事等子ども達が関わる集団生活を円滑に過ごすことができるよう療育支援をさせていただいています。	学習時間、活動時間、お話の時間、各30分の3部構成の内容を展開しています。授業時間より少し短い30分という時間の中で、集団活動中に起こる様々な課題に対し、子どもに合わせた少しの配慮を加えることで、「できた！」に導き、達成感と自信をつけられる経験となるよう関わっています。	充実した支援が行えるように、職員のスキルアップのための研修や講習が受けられる環境を整えていきたいと思っています。また、在籍している職員が継続的に子どもたちの支援に関わることで、特性への理解を深め、子どもたちの発達の芽をとらえ、より子どもたちの主体性を伸ばせるよう努めていきたいと思っています。
2	様々な活動を準備し、子どもたちが様々な事に挑戦することができるよう、支援プログラムが固定されないよう努めています。	感覚統合理論の考え方を活かし、様々な感覚を経験する活動に取り組む中で感覚情報を統合することができるよう、また、子どもたちが楽しく取り組むことができるように、バラエティに富んだ活動を準備しています。	毎月行っているプログラム会議では、幅広い年齢層や発達特性を理解し、様々なきめ細かい配慮を加えた支援プログラムの提案ができるよう努めていきたいと思っています。
3	1人ひとりの子どもの特性や保護者のニーズに合わせ、職員間での話し合いを行い、柔軟に対応しています。	集団活動を主体としておりますが、子どもの特性に合わせ、個別対応を行ったり、必要であれば学校等にご連絡したりして情報共有を行うことで充実した支援を行うことができるようにしています。一人ひとりの特性に合わせた配慮を加えることで、上手くできたこと、できなかったことすべてを成功体験にすることができるよう関わっています。	利用の際の支援内容やその時の様子等を記録にとり、毎日のミーティングで話し合い、情報共有を行いながら、より充実した支援を行うことができるよう努めていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どものとの交流の機会	「放課後等デイサービスや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会」を活動として提供しにくい。	保護者の方の要望などをうかがいながら、必要とされている交流について検討する。
2	家族支援プログラムの充実	家族支援プログラムや家族が参加できる研修会の機会が少ない	ペアレントトレーニングの一貫として保護者の研修会や勉強会等の機会を設けたり、保護者同士の交流の場を検討していく。家族向けの情報提供や相談の場を設ける。
3			